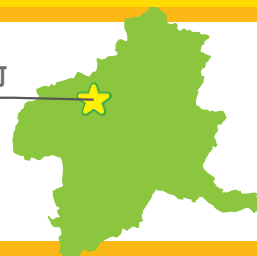


集落としてのつながりを生かした友愛活動

中之条町

中之条町上沢渡有笠クラブ



芋煮は大鍋で300食作る

●活動内容

上沢渡有笠クラブでは、役員が地域の一人暮らしや病気、寝たきりの高齢者宅に電話や訪問し、見守りなどの日常生活支援として、友愛活動をしている。話し相手を基本に、惣菜のおすそ分けや、具合の悪い人を病院まで連れて行ったり、少量であれば買物代行などをできる範囲で行う。交流の深さや家の近さ、親戚等を考慮して、1人から2人の高齢者を担当している。

平成24年に群馬県老人クラブ連合会の高齢者相互支援モデル指定を受けたことがきっかけで、正式に始めた活動だ。それ以前に、「芋煮会」での芋煮とおにぎりを高齢者に振舞った際、とても喜んでもらったことが、この活動につながった。

「芋煮会」を平成18年から開催。当日は女性会員と育成会の母親が芋煮を300食分調理し、お茶とおにぎりを来場者にふるまった。芋煮会で使う里芋は、子ども会に呼びかけ、子どもたちと一緒に収穫したものだ。

それまであまり面識のなかった、地域の子どもや保護者たちと交流が生まれたこと、児童の交通安全指導や、神社、遊歩道の清掃などの活動が評価されたこともあって、芋煮会は地域のイベントとして認められ、定着した。会員の一人ひとりが自発的に考えて動くことにより、認知症予防や健康増進につながっている。

●工夫している点・特長

友愛訪問活動は、民生委員と役員が対象者名簿を共有することで、情報のやりとりをスムーズにしている。

また、この地域は集落としての支え合いや助け合いの精神が残っていることに加え、昔ながらの顔見知りであることも、うまくいく要因だろう。



〈やりがい・楽しみ〉

「この辺りは、昔からの集落の特性で、つながりが深いので、友愛訪問にしても、特別なことをしているという意識はないんですよ。お互いに信頼関係もありますしね。芋煮会は、食べ物を作る喜びを、地域の子どもや保護者と一緒に分かち合い、交流できるのもうれしい。芋煮会に来場者に振る舞い、晴天のもと、一緒に食べる楽しさは格別です」と、長年会長を務めた前会長の福田剛士さん(84)。

参加者の「おいしかった」、「また食べたい」の声は、日々の暮らしの張り合いになっている。

基礎データ

☎0279-75-8839

中之条町老人クラブ連合会

事業開始時期/昭和38年クラブ設立

友愛活動:平成24年、芋煮会:平成18年

主な活動/友愛活動、芋煮会による世代間交流、児童の交通安全指導、神社・遊歩道の清掃活動

人数・年齢/80名以上 70歳以上

実施主体/中之条町上沢渡有笠クラブ